

節水のご協力について

本日、国・県・企業局が管理する11ダム合計の貯水率が44.7%となりました。

この数値は、過去10年間で1番低い数値となります。

また、今後の降雨の状況によっては、貯水量が渇水指標（別紙）の安全領域を外れる可能性があります。

安全領域を外れても、直ちに給水制限等を行うものではなく、今すぐに生活に影響が出るようなご心配を頂く必要はございませんが、県民の皆様におかれましては、節水へのご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、県企業局においては、海水淡水化施設の平日夜間は6月1日、土日休日は4月6日から最大稼働運転を実施しております。

詳しくは沖縄総合事務局 水情報ポータルサイトをご参照ください。

http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/mizu/suigen_portal/suigen_portal.html

問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局開発建設部 那覇市おもろまち2丁目1番1号
那覇第2地方合同庁舎2号館

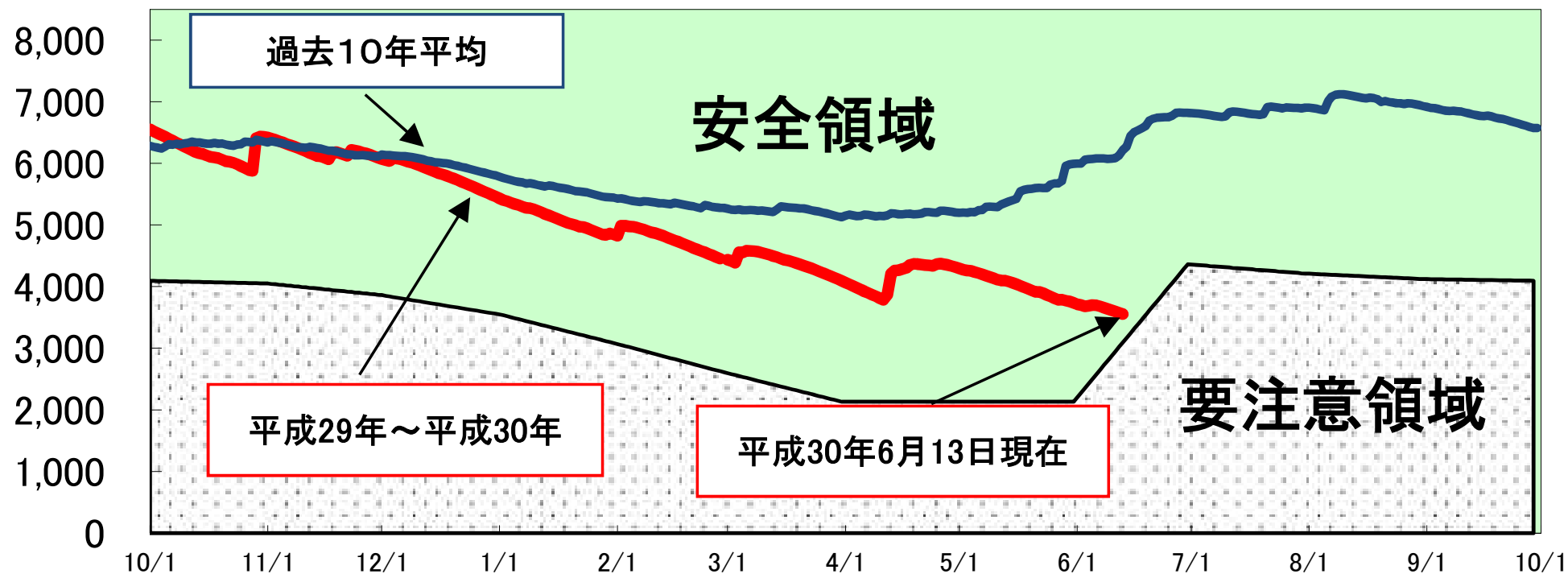
課長補佐 おおたき 大瀧 けん 健

（直通（098）866-1908）

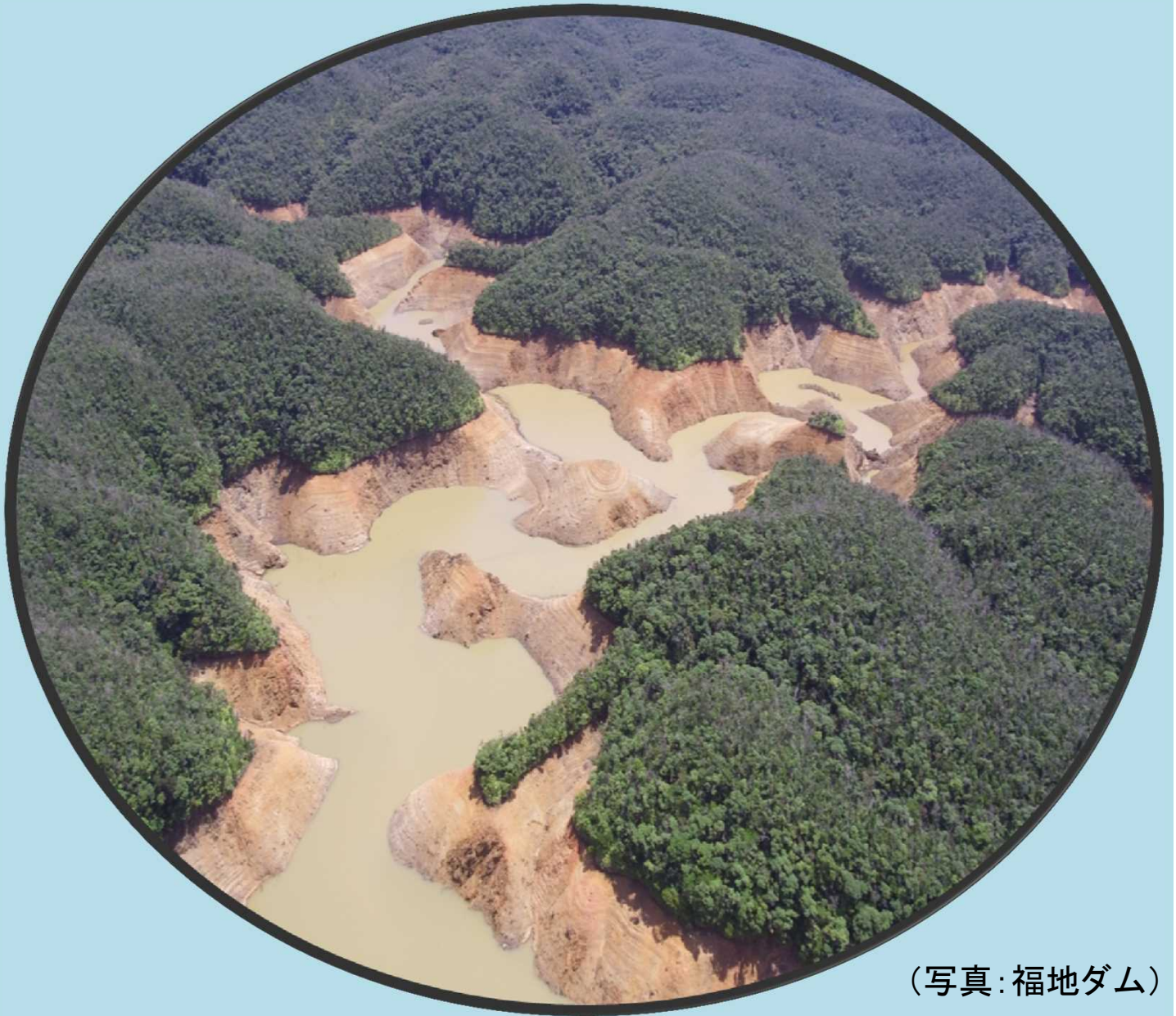
国管理9ダム及び県管理ダム(倉敷ダム)の上水道分貯水量で示す参考値

※平成27年7月31日より倉敷ダムを追加

渇水指標

上水道分貯水量(万 m^3)

水を大切に!!



(写真: 福地ダム)

ダムの貯水量が平年に 比べて少なくなっています

沖縄渇水対策連絡協議会

(水源情報) <http://www.ogb.go.jp/-/media/Files/OGB/Kaiken/kyoku/kengyo/pdf/suigen.pdf>

節水にご協力ください！

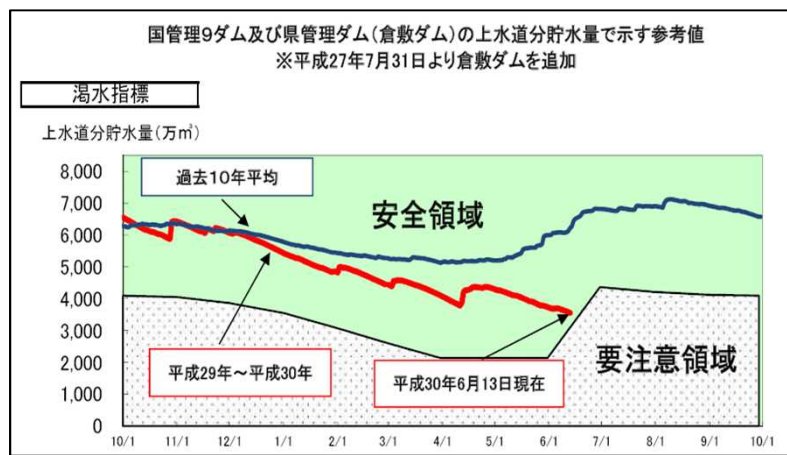
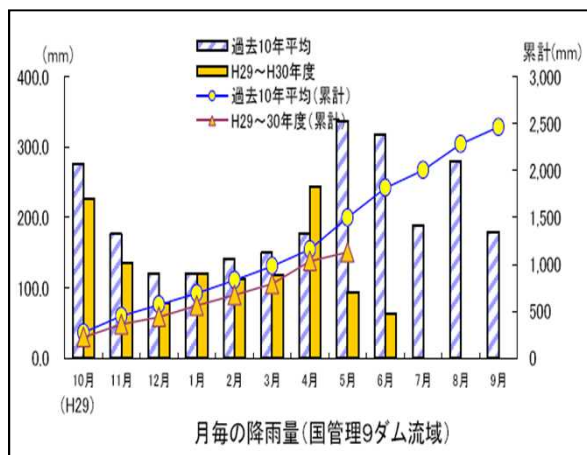
昨年からの少雨傾向によりダムの貯水率が低下し、水事情が厳しくなっています。

○沖縄水源情報(沖縄総合事務局HP)

<http://www.ogb.go.jp/-/media/Files/OGB/Kaiken/kyoku/kengyo/pdf/suigen.pdf>

○ダム貯水率(県企業局HP)

<http://www.eb.pref.okinawa.jp/kassui/>



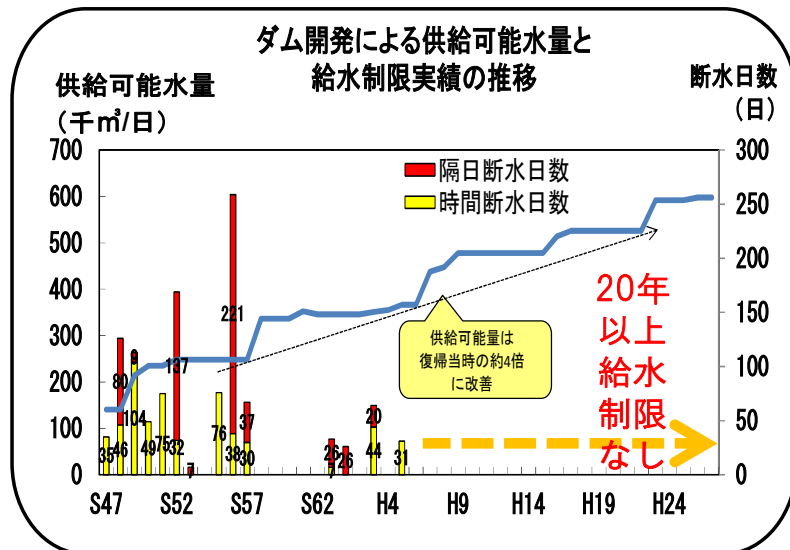
今すぐに生活に影響が出るようなご心配を頂く必要はございませんが、一人一人が普段の水の使い方を工夫するなど、節水へのご理解、ご協力をお願いいたします。

節水のしかた

台所	<ul style="list-style-type: none"> ・食器は野菜などをあらうときは、まとめてあらいましょう ・水は流したままにしないで、容器に水をためて使いましょう ・じゃ口には節水コマを使用しましょう
せんたく	<ul style="list-style-type: none"> ・せんたく物はまとめてあらい、せんたくの回数をへらしましょう ・ためすぎと、だっ水してからのすすぎを心がけましょう ・すすぎ水は、そうじ、水まきなどに利用しましょう
ふろシャワー	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーは短い時間ですませ、こまめに止めるようにしましょう ・おふろの残り水は、せんたくやそうじ、水まきに利用しましょう
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・大・小の切り替えレバーを使い分けましょう
洗面	<ul style="list-style-type: none"> ・水を流したままのせん面や歯みがきをやめ、せん面器やコップを使いましょう

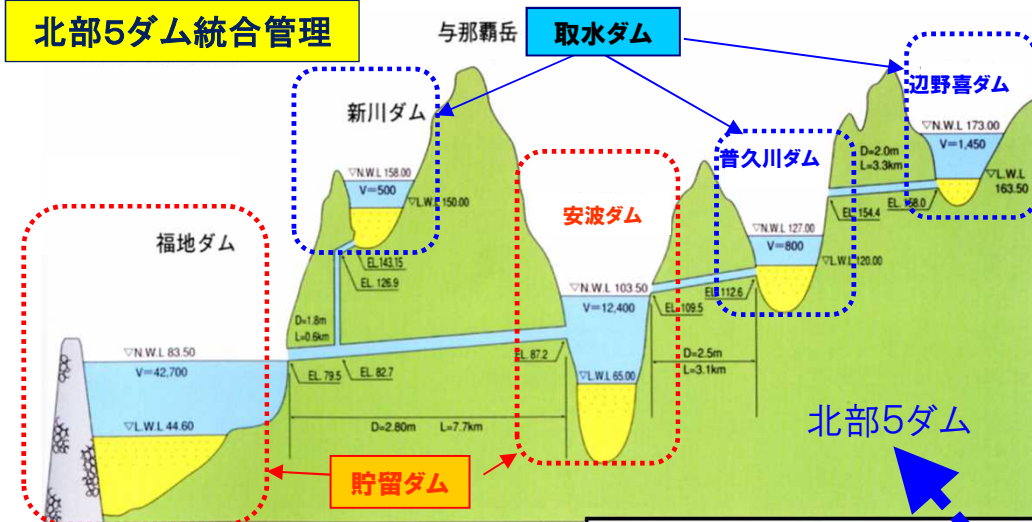
直轄ダムについて

- 北部の5ダムを導水路で連結することでダム供給量の20%を新たに開発。
- 多目的ダムによる水源開発の結果、平成6年度以降、20年以上給水制限が実施されていない。
- 5年ごとに実施の「県民意識調査(暮らしについてのアンケート)」で、約70項目中「水利用」は昭和54年の調査開始以降、連続して満足度が第1位(平成2年調査以降は不満足も連続して最下位)。



10ダム目となる金武ダムの竣工(H25年度)

北部5ダム統合管理



【北部5ダム統合管理の効果】

単独運用供給量 ⇒ 216,000 m³/日
統合管理供給量 ⇒ 259,000 m³/日

5ダム統合運用開始S63年から
43,000 m³/日 の供給能力の増加
(ダム供給量の20%に相当)

建設された多目的ダム



北部から
水を供給

※倉敷ダムは瑞穂山ダムとして国が建設後、沖縄県が管理している。



沖縄の水資源開発パネル展を開催します

< 実施期間・開催場所 >

- 6月11日～22日 沖縄総合事務局 1F行政プラザ
- 6月25日～29日 イオンモール沖縄ライカム 3Fライカムステージエアー
- 7月 2日～ 6日 沖縄銀行本店
- 7月 9日～13日 沖縄県庁 1F

< 展示概要 >

- 昭和47年の本土復帰以降、沖縄総合事務局では、本島北部の山地を中心に、洪水調節や安定した水資源の確保を目的として10のダムを整備してきました。その結果、水不足が頻発していた脆弱な水供給体制は大きく改善され、平成6年度以降、沖縄本島では給水制限が行われていません。
- しかし、今年は昨年夏から続く少雨傾向もあり、ダムの貯水率が例年に比べ大幅に低くなっています。
- そこで、ダムの役割や水に関する今・昔、過去の渇水の様子、水を大切に使う工夫(節水方法)、ダムを活かした水源地域の活性化への取り組みを紹介するパネル展示を行います。
- 併せて、7月より各地のダムで「ダムまつり」が開催されます。この機会にダムまつりへ出かけてみて、渇水状況や水の大切さを直に感じてみてはいかがでしょうか。

戦前の沖縄



粟国村の民家にあるトウジ
(天水を貯おくための石槽)



今も残るむかしの水利用の遺跡

ガジュマルの気根からカメに
水を誘導してためる女性

S57.7.5 琉球新報



渇水の深刻さを伝える記事

H30.6.4 沖縄タイムス



貯水位の下がった福地ダム